

## 11月調査の府内集計について！



今朝の新聞に発表がされていたので、ご存じの人も多いと思いますが、京都府教育委員会より『令和6年3月卒業予定者進路希望調査』についての通知がありました。よって3年生の全員に配布します。これは、11月進路希望調査を京都府全体で集約したものです。以下のことをよく理解したうえで進路選択、志望校決定の参考にしてください。（発表は京都府公立高校のみです）

なお、この調査の状況および、先日の進路相談会、第3回テストの出来具合をみて、11月調査からの変更がある場合は12/5(火)締め切りで変更届の提出をお願いします。変更届の用紙は、担任の先生に申し出てもらってください。短期間ですが、切厳守ですので、よろしくお願いいたします。

### 調査の内容

- (1) 表紙 令和6年3月中学校及び総合支援学校中学部 卒業予定者数
- (2) [ 第1表 p1 ] 進路希望状況
- (3) [ 第2表 p2～ ] 公立高等学校 学校別・学科別志望状況

### ☆上記の関する注意点

- ① 第2表の数字は、第1希望のみの集計です。つまり、前期選抜と中期選抜第1順位の希望者数の合計ということです。（中期の第2順位や第2志望の希望数は集計に入っていません。）
- ② いくつかの学校で希望者が定員を満たしていない学校もありますが、それで全員合格となる訳ではありません。選抜（入試）の結果、「うちの高校で学ぶ資格がない」と判断されれば、不合格となります。  
また、前期と中期の選抜者数の違いにも注目しておかないと勘違いをしてしまいます。

☆身近な桂高校と洛西高校で見てみましょう。 第2表のp2の下から3校目と2校目です。

◇ 桂高校 普通 募集定員 280人 に対して 志望者数 369人 ～文句なしに人気校、厳しい！  
さらに、右側の前期選抜の志望者を見ると、A方式15% 募集42人に対して265人 6.31倍  
(B方式と合わせて30%) 非常に高い倍率です

◇ 洛西高校 普通 募集定員 280人 に対して 志望者数 224人 ～なんや、定員割れてるやん!?  
しかし、右側の前期選抜の志望者を見ると、A方式30% 募集84人に対して189人 2.25倍  
桂ほどではないが、高い倍率です。



さらに、このまま前期選抜が実施されたとする。

桂の不合格者は223人→ この人たちが、中期選抜を改めて志願することになります。

- どうする？
- ①もう、あきらめて私学の併願校に進学する？
  - ②桂高校にもう1回チャレンジする？その場合は第2順位がどこに…近くの洛西高校か？
  - ③桂高校は難しいから、中期の第1順位は近くの洛西高校に変更するか？ などなど

つまり、現時点で募集定員を下回っているように見えても、そうではない！ を理解しておきましょう。



ただし、何度も言ってきましたが、進路選択は、入りやすい学校を選ぶことではありません！ 君たちが次の3年間で過ごしたい学校、また、その先の将来に向けて上手に導いてくれる学校を選ぶための参考の一つとして、この情報を有効に使って欲しいと思います。